

所 属	県土整備部 砂防課		
担当(係)名	砂防保全担当	内線	3744

<短期的・局地的豪雨対策の推進等>

砂防えん堤のリフレッシュによる安全・安心の向上

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1,341,192	国庫 691,996	工事請負費 1,107,692
(前年度	県債 649,100	(砂防えん堤工等)
1,835,000)	一財 96	委託料 149,500
		(測量設計等)

2 背景・現状

近年、短期的・局地的豪雨の多発等による災害リスクが増加する中、住民の土砂災害対策に対する要請が高まっている。

県では、これまで砂防えん堤の新設等による対策を実施してきたところであるが、一方で、厳しい財政の中、低コストで早期に安全性が向上する取り組みが求められている状況にある。

3 事業目的

同一流域内等において、砂防えん堤の新設等と併せて既存えん堤に新たに管理用道路を設置し土砂掘削を行い、機能を拡大することにより、低コストで効果的な土砂災害対策を実施し、短期的・局地的豪雨に対し安全・安心な県土づくりを推進する。

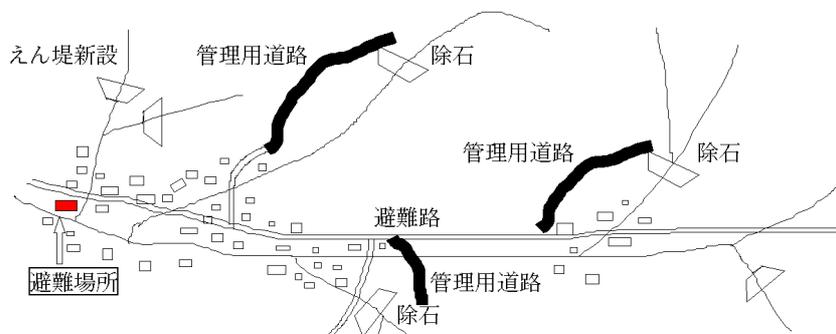
4 事業概要

○牧戸谷（飛騨市宮川町）他3箇所

・平成21年度より木曾谷周辺（中津川市加子母）で砂防えん堤を新設するとともに、既存えん堤に堆積した土砂を除去するため、管理用道路を設置する事業をモデル的に実施している。本事業は住民の安全・安心の確保に非常に有効であるため、県下の他箇所へ取り組みを拡大する。

○具体的な整備内容

- ・砂防えん堤工実施
- ・既存砂防えん堤を管理型へ移行
えん堤の土砂捕捉機能を拡大するため、堆積している土砂の除去（除石）及び継続して除石を実施するための管理用道路の開設



(款) 8 土木費 (項) 4 砂防費 (目) (3) 砂防事業費
(明細書事業名) 公共事業
通常砂防費 他